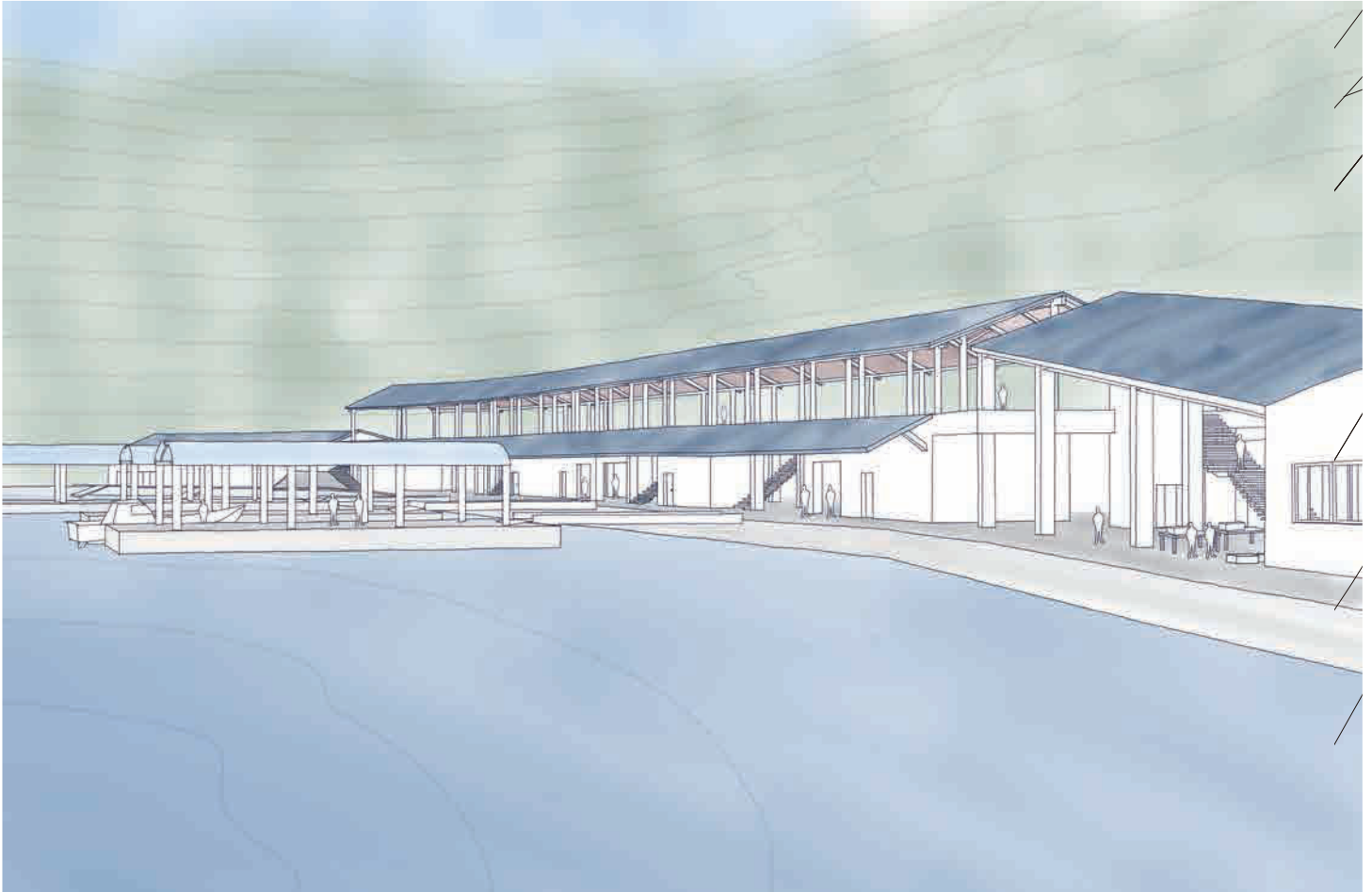


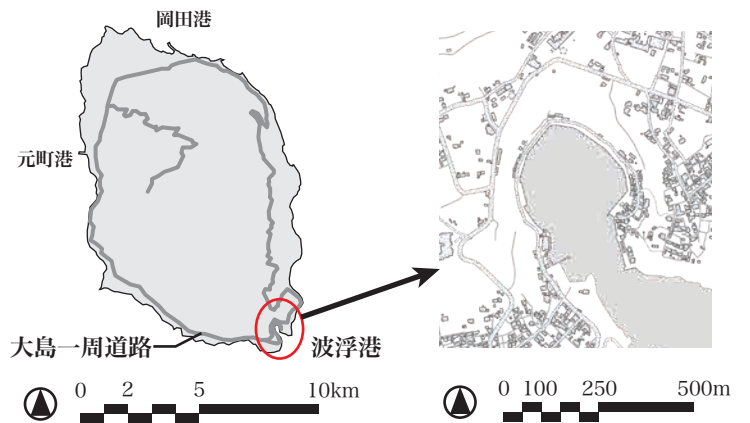


敷地：東京都大島町波浮港
 用途：漁港施設・栽培漁業施設
 模型：詳細模型 1/50 敷地模型 1/500



対象敷地

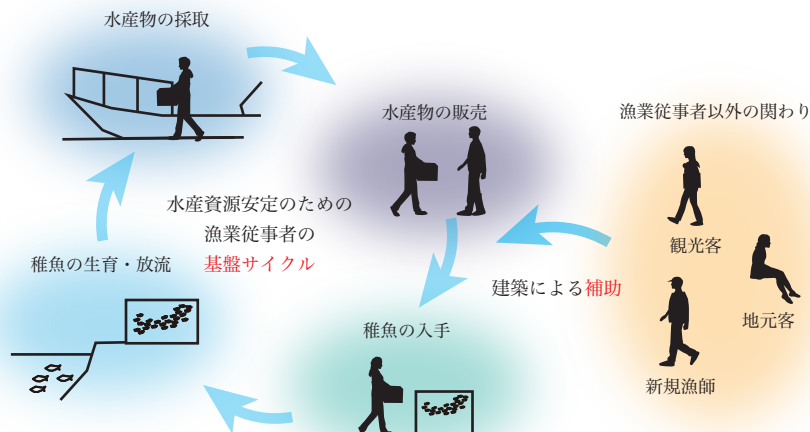
伊豆諸島における大島の**波浮港**という伝統的な港町が残る地区を扱う。
 大島は都心から120km南に浮かぶ伊豆諸島で最大の島であり、波浮港を含めた6つの地区に分かれる。
 波浮港は、火口跡が地震によって海と繋がることで生まれた天然の良港である。明治期には数多くの船が**風待ち**や**遠洋漁業の中継地**としての目的のために波浮港へ訪れ、賑わった。本土との直接の交通手段を持たないため、当時の港町が今もなお残っている。
 島の**特産品**としてイセエビ、トコブシ、サザエ、キンメなどの**水産物**が挙げられ、波浮港を除く5つの地区には地元漁船の拠点となる漁港が存在する。波浮港においても、小規模な朝市が開かれるなど、漁業活動が見られる。

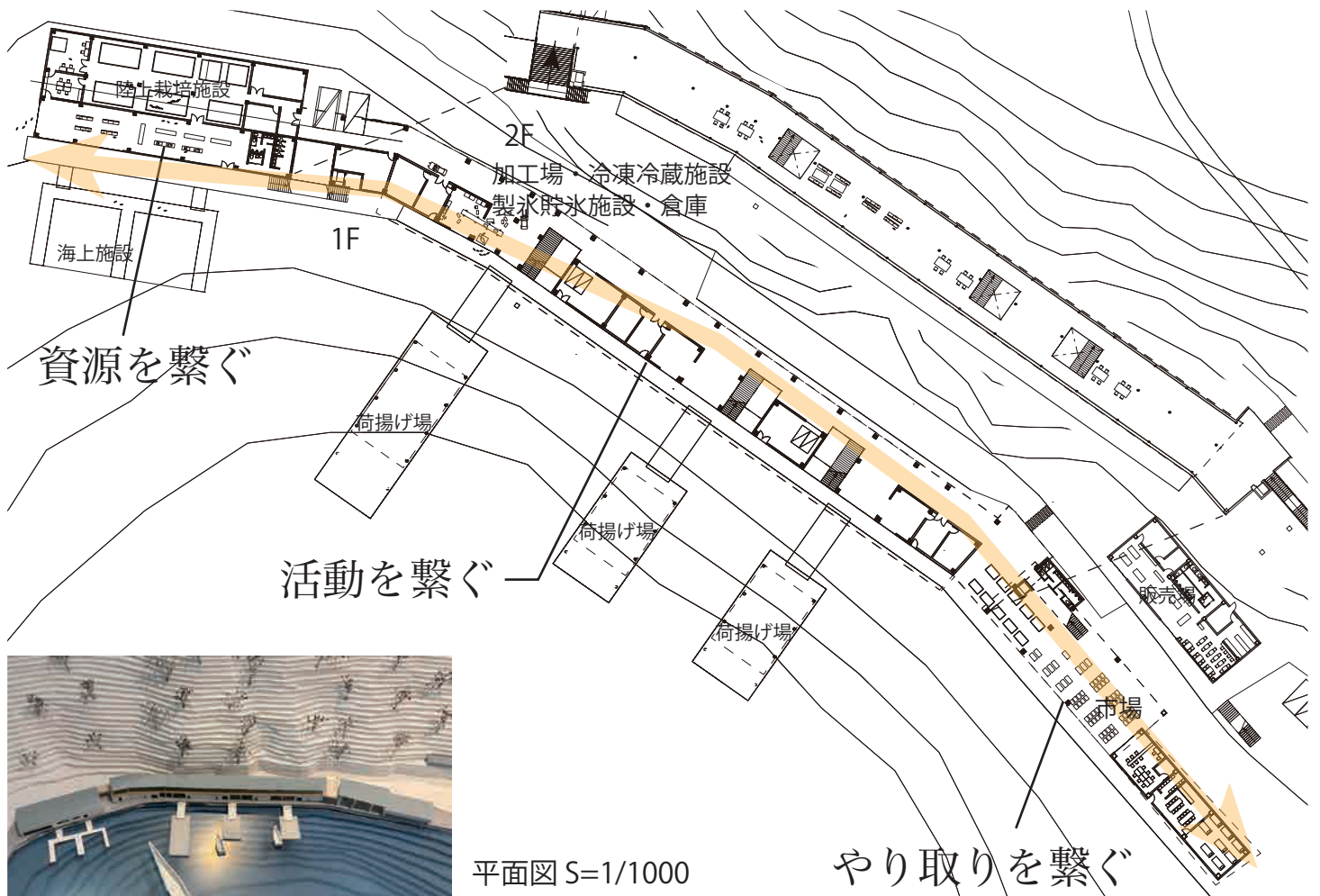


コンセプト

漁業が衰退している日本、ひいては伊豆諸島大島において、**漁業活動を支える機能**の施設を作ると共に、今までの大島にはなかった**観光・教育的機能**を付加することで、この地で活動する漁師だけでなく、新規漁師、観光・地元客の漁業の活動への関心の向上を促すことができる**建築の設計**を行う。

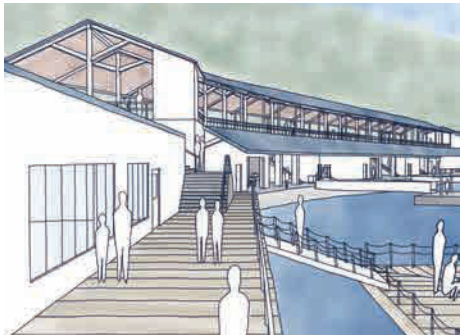
- 機能として、
- 水産資源維持・教育的場所の「**資源を繋ぐ場**」
(陸上栽培施設、海上生簀)
 - 漁業の職場・一般の人との交流が起きる「**活動を繋ぐ場**」
(加工場、冷凍冷蔵施設、製氷貯水施設、倉庫)
 - 資源の販売が起きる「**やりとりを繋ぐ場**」
(市場、加工物販売所、飲食店)
- を一続きに作り、多様な立場の人々が交わる場を生み出す。



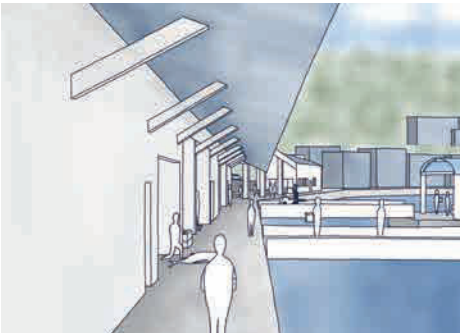
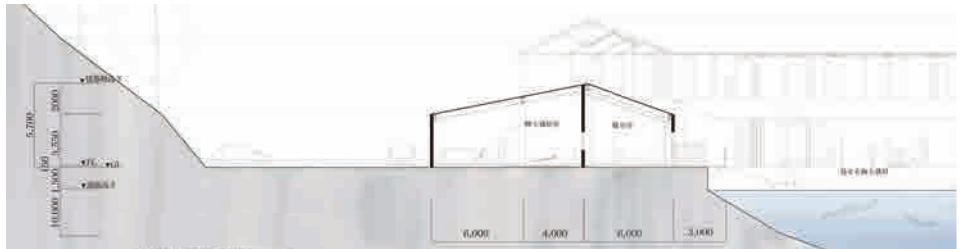


平面図 S=1/1000

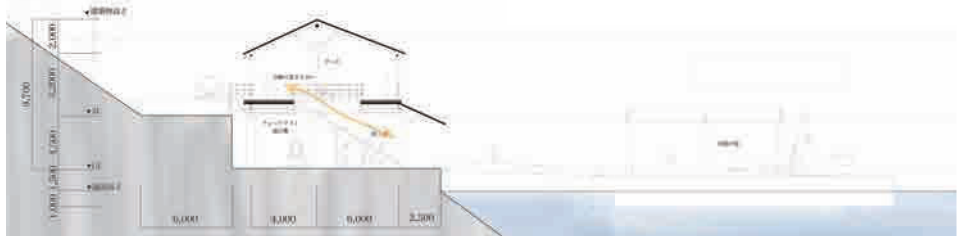
やり取りを繋ぐ



栽培漁業施設断面図 S=1/500



漁港施設断面図 S=1/500



市場・販売施設断面図 S=1/500

